

2018年度 がんプロ公開シンポジウム

診断から看取りまで、 切れ目のないがん医療の実現 ～知れば納得、リソースの活用方法～

がんは2人に1人がかかり、3人に1人が亡くなっていることは周知の事実。では、がんの診断から亡くなるまでにどれくらいの職種が関わっているのでしょうか。

がんの療養を支える専門職はたくさんいます。それぞれの職種は専門の知識はもちろん、経験に基づいた裏技も持ち合わせています。

しかし、自分の職種以外のことについては、こういう方法や制度があるとだけ知っていても、実際に活用出来るとは限らないという悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、がん医療の最前線に携わっているがんプロインテンシブコース一期生の様々な職種の立場から、現場の生の声、知っておくべき情報、制度の話、裏話等、実践で使える活きたお話を一挙にお伝えします。

日時 2018年 7月29日(日) 9:30-12:20 (受付9:00～)

会場 弘前大学医学部 基礎大講堂

〒036-8562 弘前市在府町5番地

●バス

JR弘前駅前(中央口)【6番乗り場】から約20分

【大学病院前】下車後徒歩約3分

※帰りは土手町循環100円バスが便利です

(大学病院正面玄関前100円バス専用乗り場より乗車)

●車で来場の方は8:30～10:00の間は弘前大学医学部敷地内駐車場をご利用できます。
時間を過ぎてからのご来場は近隣の有料駐車場をご利用ください。

対象：医療従事者・行政関係者・医療系学生

定員：150名

参加費無料

申込方法：FAX・ホームページの申込フォームでお申し込みください。

※当日のご参加も歓迎いたします。



プログラム

9:30 開会のあいさつ

伊藤 悦朗 (弘前大学大学院医学研究科 小児科学講座 教授)

9:35 本シンポジウムの趣旨と概要 岡野 聡 (日本調剤弘前薬局 薬剤師)

9:40 講演

座長 高畑 武功 (弘前大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座 講師)

「がんと診断された時」

工藤 真紀子 (弘前市立病院 看護師)

「がん相談今昔ものがたり」

青木 広美 (弘前大学医学部附属病院 がん専門相談員)

「がん治療にかかるお金と制度のはなし」

佐藤 誠人 (弘前中央病院 社会福祉士)

「がんの療養を支える社会資源」

袴田 光樹 (弘前大学医学部附属病院 認定社会福祉士・医療分野)

休憩

「『普通に過ごす』を考える ～アピランスケアを中心に～」

高谷 真史絵 (弘前大学医学部附属病院 認定がん専門相談員)

「働くを支える」

飯村 健治 (青森県立中央病院 社会福祉士)

「心に響く訪問薬剤を ～目となれ、耳となれ～」

岡野 聡 (日本調剤弘前薬局 薬剤師)

休憩

11:45 総合討論・質疑応答

12:15 閉会のあいさつ 佐藤 温 (弘前大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座 教授)

問い合わせ先 「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」弘前大学事務局 宮本

〒036-8562 弘前市在府町5番地

電話：0172-39-5206

FAX：0172-39-5209

E-mail ganpro@hirosaki-u.ac.jp

http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~ganpro3/



主催：未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

診断から看取りまで、切れ目のないがん医療の実現 ～ 知れば納得、リソースの活用方法 ～

参加申込書

弘前大学がんプロ事務局 宮本 行

FAX: 0172-39-5209 申込締切 2018年7月25日(水)

※当日のキャンセルの連絡は不要です。

ふ り が な		年 齢	性 別
お 名 前		歳	男 女
所 属 機 関 名			
職 種			
参 加 の 動 機			
今後もセミナーの案内をお送りしてもよい場合、送付先住所またはメールアドレスをご記入ください	〒 _____		
	(自宅 ・ 勤務先)		
	メールアドレス ※添付ファイルが受け取れること		

※ご記入いただいた個人情報については本シンポジウム関連以外には使用しません。

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

(東京医科歯科大学・秋田大学・慶應義塾大学・国際医療福祉大学・聖マリアンナ医科大学・東京医科大学・東京薬科大学・弘前大学)

お問い合わせ先

弘前大学がんプロ事務局 宮本

〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地 弘前大学医学研究科

☎0172-39-5206 FAX 0172-39-5209

Mail/ganpro@hirosaki-u.ac.jp <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~ganpro3/>